



レパンデ村植林プロジェクト 事業報告
(2022年4月～2023年3月)

令和5年6月15日

ミャンマーでの植林プロジェクト



- JIFPROは1997年から、ミャンマーの中央乾燥地域にて植林事業を実施
- 中央乾燥地は、厳しい気候条件から自然更新が難しく、かつ過放牧や伐採等による森林減少・劣化が特に深刻なことから、ミャンマー政府が緑化事業に力を入れている地域
- こうした現状を踏まえ、JIFPROはこれまでの25年間（1997-2022）で9つの植林プロジェクトを実施し、植栽面積は1,795haに及ぶ

レパンデ村植林プロジェクトの概要

目的	<ul style="list-style-type: none">・薪材、柱、小丸太や農業用資材などの地域共同体の基本的ニーズを満たす・森林保全・再生計画への地域共同体の参加を促進する・地域住民の社会経済的発展を支援する
期間	・2022年4月～2023年3月（1カ年）
対象地	ミャンマー国マンダレー管区ニャンウー郡区レパンデ村
植栽面積	総面積24ha
植栽樹種	ユーカリ カマルドレンシス、アカシア・カテチュー、ハミルトンチーク、ステルクリア ヴェルシコラル
2022年度の活動	2022年度植栽地への植林および保育



ショベルカーを使った植え穴掘り



看板

2022年度の活動状況



2022/7/31 09:33

境界線および植穴の確定作業



2022/8/5

植穴掘り作業



2022/8/8

土壌改良のために牛糞堆肥をすきこむ



2022/8/13

林業局スタッフによる植樹穴の大きさの確認

2022年度の活動状況



広大な土地なので各植穴に苗木を配置するのも大仕事



植栽木の成長を促すための施肥作業



農民による植樹作業



農民による植樹作業

2022年度の活動状況



水やり



1本1本丁寧に水やりをする



下草刈り作業



枯れてしまった苗を植え替える補植作業

2023年5月出張報告(レパンデ村)

5月15日～19日に当センターの専務理事の高原がミャンマーに出張し、植栽から約1年経ったレパンデ村を視察してきましたので、ご報告します。



植栽から約1年 順調に生育している



2022年の植栽時期が少し遅れたもの(7月)については、苗木の定着から生長に至るまでの十分な期間がなく、ユーカリについては比較的良い生長を示しているものの、それ以外の樹種については、植栽後の生長は大きくはない。しかし、一部については枯死しているものの、ほとんどは活着しており、5月から既にサイクロンの襲来により既に始まっている本年の雨季の生長が期待できる。



村人たちと